

第 15 回世界風力エネルギー会議 2016 東京
環境配慮 報告書



2016 年 10 月 31 日－11 月 1 日
東京大学 本郷キャンパス

2017 年 1 月

第 15 回世界風力エネルギー会議 2016 東京 組織委員会

目次

| | |
|---------------------|---|
| 会議の環境配慮について | |
| 1-1 全般的取り組み | 1 |
| 1-2 個別の取り組み | 1 |
| (1) 会場の取り組み | 1 |
| (2) 宿泊施設の取り組み | 1 |
| (3) 委託する関係事業者への取り組み | 2 |
| (4) 運用面での取り組み | 2 |
| 1) 会場 | 2 |
| 2) 資料・配布物 | 2 |
| 3) 飲食 | 3 |
| 4) 情報発信 | 3 |

1. 会議の環境配慮について

1-1 全般的取り組み

会議の環境配慮取り組み方針

第 15 回世界風力エネルギー会議 2016 東京を開催するにあたり、環境に配慮した会議を開催する目的で、「会議等の環境配慮のススメ 環境省」を活用する。

環境配慮の重点テーマ

会議のテーマ「総力の結集！風力発電挑戦のステージへ！-日本の挑戦 風力 30GW！-」より、自然エネルギーの活用を推進することが重点テーマとなる。

環境配慮の責任者及び担当者

環境配慮責任者：第 15 回世界風力エネルギー会議 2016 東京 組織委員会
総務委員会 総務委員長 飯田誠

環境配慮担当者：第 15 回世界風力エネルギー会議 2016 東京 組織委員会
事務局 三浦秀夫

1-2 個別の取り組み

(1) 会場の取り組み

会場である東京大学は、「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律（環境配慮促進法）」に基づき、「東京大学環境報告書 2016」として、平成 27 年度の実績を作成しております。本件は毎年更新されており、HP にて公開されている。

以下に URL を示し。

http://www.u-tokyo.ac.jp/fac06/public05_j.html

(2) 宿泊施設の取り組み

宿泊施設の選定は、会場である東京大学への徒歩圏内及び公共交通にて至近の距離にある宿泊施設を紹介する配慮をする。

2-1) 海外からの招待講演者、WWEA 評議員は大学構内の宿泊施設を紹介した。

2-2) 一般参加者へは東京大学へ徒歩又は公共交通機関を使ってアクセスできる宿泊施設を HP にて紹介した。また公共交通機関を使ってアクセス方法を示す地図をプログラムで紹介した。また、東京大学の HP にも公開されている。

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html

(3) 委託する関係事業者への取り組み

委託事業者の選定にあたっては、ISO14001、「エコアクション21」などを導入しているかの確認を行う。

3-1) 業務全体は近畿日本ツーリスト株式会社に委託した。近畿日本ツーリスト株式会社は会社としての独自の環境方針を掲げ、基本理念として「地球環境の保全が人類共通の目標であることを認識し、旅の総合プロデューサーとして、企業活動を通して自然や文化を守り育てていくことにより、環境保全活動に努め企業の社会的責任を果たします。」としていることも考慮し選択した。

(4) 運用面での取り組み

1)会場

- ・会場の室温は夏期 28℃、冬期 20℃とする。
 - 1-1) 室温については基本的には空調を使わず自然のままに対応した。しかし、人数が多く室温の上昇が確認できた時のみ部分的に空調を使った。
- ・使用していない部屋の照明の消灯、空調の OFF を徹底する。
 - 1-2) 会期中に会場担当者には発表終了後には部屋の消灯を徹底するとともに、毎日の会議終了後の施錠時にすべての部屋の消灯、空調の OFF を管理者とともに確認した。
- ・会場から出る廃棄物の分別、リサイクルを徹底する。
 - 1-3) 会場にて発生した廃棄物は「もえるごみ」「もえないごみ」「プラスチック」「ペットボトル」「カン」「びん」に分別し、廃棄された。
- ・出席者にごみの削減と分別への協力を呼びかける。
 - 1-4) 会場にある既設のごみ箱には分別の廃棄が明記されていた。別途準備したゴミ箱には廃棄の分別を明記し、それ以外のごみは既設のごみ箱に分別廃棄を要請した。廃棄は分別され行われた。
- ・コーヒーのサービスにおいては使い捨てでない容器を使用する。
 - 1-5) 参加人数が 500 人規模のため既存の容器では足りず、紙コップを使用した。紙コップは間伐材を使用した製品とした。

2)資料・配布物

- ・ウェブサイトやメールによる広報を主体とし、印刷物の大量配布を抑制する。

2-1) 広報はウェブサイト <http://wwec2016tokyo.com/> にて実施。個別の発表者への連絡はメールにて実施した。

- ・配布資料は必要数を精査して最小限とする。両面印刷により可能な限り紙の枚数を減らす。

2-2) 印刷物は、プログラムと Abstract 集のみとした。配布部数は予想参加者 500 名に対し 500 部準備した。若干の控えを残し配布は完了。

- ・電子媒体を活用し紙の消費を削減する。議事録などは CD、USB の配布又はホームページからのダウンロード可能とすることにより紙の枚数を減らす。

2-3) Proceedings は HP よりダウンロードとし、印刷物としての配布は行わず。

<http://wwec2016tokyo.com/wp-login.php>

Username : endorse1031

Password : tokyo2016

3) 飲食

- ・昼食などの食事の提供は大学内の施設（山上会館食堂、生協食堂）を利用するとし、発注などは行わず経費や食品ロスを抑えることとする。

3-1) 事前に生協などに問い合わせたが、昼食の時間帯に集中することで、全参加者が同時に食堂を利用することは困難と判断し、弁当の提供とした。会場施設内での飲食を可とし、提供する数は参加登録者より判断した。若干のべ等は残ったが、スタッフにて全て消費され廃棄は無かった。

- ・パーティについては参加者の人数を事前に確定させる。申込登録時に参加の可否を記載し人数の確認を行う。

3-2) 参加人数を確定させるために登録時に参加費を徴収することにより、参加の希望数の人数の確認を行った。

4) 情報発信

- ・ホームページにて環境配慮の方針と取り組み内容について記載し、理解と協力を呼びかける。

4-1) 「本会議の特徴」として再生可能エネルギー100%チャレンジを目標に掲げ広く世界の人々に理解と協力を呼び掛けています。

- ・ポスターには環境配慮について記載し、理解と協力を呼びかける。

4-2) ポスターの作成は行わず。WEBのみとしました。

- 公共交通手段の利用を呼びかける。
 - 4-3) 公共交通機関を使ってアクセス方法を示す地図をプログラムで紹介した。
 東京大学の HP にも公開されていることを紹介した。
http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html
- 会議当日、参加者に環境配慮の取り組みへの理解と協力を呼びかける。
 - 4-4) 再生可能エネルギーの専門家の集まりであるが、会場への公共交通機関の利用、ごみの分別、室内温度の調整に対する協力など呼びかけた。
- 近隣階への移動は階段を使用するよう呼びかける。
 - 4-5) 安田講堂内の会場は 1 か所であり、ロビーへの移動は原則階段を推奨し、案内板を設置した。
 山上会館も同様に 2 階の会場ではあるが階段での移動が主となり、案内板を設置した。
 工学部 2 号館は会場が複数に分かれていたが、館内の要所に案内板を多数出し、階段での移動を誘導した。
- 運営スタッフやボランティアに環境配慮について教育し、取り組みを徹底する。
 - 4-6)
- 会場や宿泊施設と環境配慮についてコミュニケーションをとって推進する。
 - 4-7) 会場の環境配慮は東京大学が主体となって行っている。会議の開催にあたり施設担当者で連絡を複数回とり会場の環境配慮に努めた。山上会館宿泊施設については、ごみの分別を実施することだけでなく、シーツの交換などについても 3 日に 1 度などの頻度で行うなどの配慮をしていることを確認している。
- 会議終了後、環境配慮の取り組み成果についてホームページ等で情報発信する。
 - 4-8) 環境配慮報告書を作成し、HP に掲載した。
<http://wwec2016tokyo.com/kankyo/>

以上